

登録コード	UAA41500	開講年度	2026				
授業題目	フランス語学・フランス文学実践演習					担当教員	鎌田 隆行
						副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限		
			授業形態	演習			
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学						
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。					フランス文学に対する多様なアプローチ方法を理論的に学び、文学テキストに対する実践的な分析能力を高めます。	
	【人間文化学】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。					フランス文学に対する多様なアプローチ方法を理論的に学び、文学テキストに対する実践的な分析能力を高めます。	
(2)授業の概要	フランス文学の発展的能力を養うため、発展的研究方法を実践的に学ぶことをテーマとする。授業形式は、教員による講義・質問と受講生による質問・課題発表を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。ケーススタディとして19世紀作品（テキスト ）と20世紀作品（テキスト ）を扱う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解・解読の実践を課す。						
(3)授業計画	第1回：ガイダンス：この授業のねらいと概要を解説し、参考書、授業の進め方、事前事後学習の方法について説明を行う 第2回：テキスト の成立過程（基礎講義） 第3回：テキスト の先行研究（基礎講義） 第4回：テキスト の参考文献収集（課題発表） 第5回：テキスト の読解（演習） 第6回：テキスト の分析（演習） 第7回：テキスト の特質について（課題発表） 第8回：テキスト の時代背景概観（基礎講義） 第9回：テキスト のデータ収集に関する問題（基礎講義） 第10回：テキスト のデータ収集に関する問題（課題発表） 第11回：テキスト のデータ解釈に関する問題（基礎講義） 第12回：テキスト のデータ解釈に関する問題（課題発表） 第13回：テキスト の解読に関する問題（基礎講義） 第14回：テキスト の解読に関する問題（課題発表） 第15回：まとめ：受講生との質疑応答をもとに本授業に対する理解度を確認し、参考文献等の補完および学習アドバイスを行う 期末試験は実施しない						
(4)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 受講者による課題発表（50％）、受講者の資料読解・解読の実践内容（50％） *評価割合は若干調整を行う場合もある。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(5)成績評価の基準	【卓越している】問題設定が的確で、問題の背景説明が適切になされ、課題に対する既存の学説が把握されており、それらを踏まえた自説の提示に説得力があり、それらが総合して、極めて高い水準にある。 秀 【かなり上にある】上記の諸能力が、非常に高い水準にある。優 【やや上にある】上記の諸能力が、高い水準にある。良 【その水準にある】上記の諸能力が、一定の水準にある。可						
(6)事前事後学習の内容	毎回の授業の終わりに学習内容を振り返って事後学習用の短答式課題を出題し、また、次回の内容につながる予習の指示を行なう。次の回の冒頭で、前回の事後学習課題について討議を行う。						
(7)履修上の注意	教材の準備のため、受講生は初回開講日の前日までに教員にメールで受講の旨を連絡すること。 第2回以降の開講日時は教員と受講生で相談の上、設定する。						
(8)質問、相談への対応	授業中に質問を受け付ける時間を十分に設けるとともに、オフィスアワー（毎週火曜日の12時50分～13時20分）またはアポイントメントによる面談で受講生からの質問に対応する。						
【教科書】	PDFで配布する						
【参考書】	授業の際に紹介する						